

「地域の災害レジリエンスの評価指標開発と政策シミュレーション研究委員会」

成果報告会

主催 公益社団法人 日本地震工学会

趣旨

近年、持続可能な都市や地域をめざす取り組みが世界各地で行われている。その背景には、世界中で進む都市化（都市部への人口流入と不適切な都市開発）を原因として、自然災害等による人的・物的被害が増加していること、また、このような状況を踏まえて、国連国際防災戦略（UN-ISDR）事務局は「防災の主流化」を、世界経済フォーラムは「災害レジリエンスの向上」を提唱し、各種災害対策の必要性を指摘していることが挙げられる。

このような背景のもと、日本地震工学会では会長特別委員会として「地域の災害レジリエンスの評価指標開発と政策シミュレーション研究委員会」を立ち上げ、理工学と人文社会学を融合したハードとソフト対策の組み合わせと、産官学に金融とマスコミを合わせた総合的な災害マネジメント対策の理論構築、さらに社会実装のための政策研究を行ってきた。3年間にわたり活動してきた本研究会の成果を広く社会に周知するとともに、研究成果の今後の展開や活用、および社会実装化に向けた議論を深めるため、下記の通り成果報告会を開催するものである。

1. 日時：2018年5月10日（木） 13時30分～17時

2. 場所：ビジョンセンター田町 4階 406会議室

（港区芝5-31-19 オーエックス田町ビル4階）

会場案内図：<https://www.visioncenter.jp/tamachi/access/>

3. プログラム

13：30～14：00 開会挨拶および趣旨説明

委員長 目黒 公郎（東京大学）

14：00～14：30 基調講演「地域防災力の要諦」（仮）

鍵屋 一（跡見学園女子大学・

一般社団法人福祉防災コミュニティ協会）

（休憩）

14：45～15：30 研究成果報告

（休憩）

15：45～16：45 パネルディスカッション「地域の防災力評価」（仮）

コーディネーター

目黒 公郎（東京大学）

パネリスト

各委員を予定

16：45～17：00 閉会の挨拶

蛭間 芳樹（日本政策投資銀行）

4. 参加費（報告書代を含む）

会 員：3,000 円、学生会員・学生：1,000 円、非会員：4,000 円

5. 定 員：100名（先着順）

6. 申し込み方法

- (1) 別紙の申込書により、電子メールまたはFax でお申し込みください。
- (2) 受講料は当日持参してください。
- (3) 申し込み期日 5/1(火)17時

7. その他

当日は成果報告会後に懇親会を予定しております。

時 間：17:30～19:30

会 場：アリスアクアガーデン田町（田町駅西口徒歩1分）

（東京都港区芝 5-34-7 田町センタービルピアタ 3F）

<http://www.r-alice.jp/tamachi/>

会 費：4000 円／1名（予定）

ご参加を希望される方は、お申し込み時に「懇親会参加」と記載ください。

【申込み、問合せ先】：日本地震工学会事務局

〒108-0014 東京都港区芝 5-26-20 建築会館内

電話 03-5730-2831、Fax 03-5730-2830

電子メール office@general.jaee.gr.jp